令和７年９月定例会（2025）

とっとり 県議会だより

No.054
9月 Sep. 議会

〈県議会HP〉
県議会についての情報を掲載しています。

〈定例会中継〉
本会議や委員会の様子を生中継しています。

〈県議会公式X〉

〈県公式LINE〉

Contents

代表質問……2~3p
一般質問……4~7p
常任委員会活動……8~9p
議決結果……10~11p
高校生議会……12p
お知らせ……12p









９月定例会の概要（９月11日～10月８日）

開会日の９月11日に、平井知事から、総額11億円余の令和７年度鳥取県一般会計補正予算など16議案が提案されました。また９月26日に、鳥取県人事委員会委員の選任など８議案が追加提案されました。

代表質問は鳥取県議会自由民主党と鳥取県議会民主とっとりが行い、一般質問には21名の議員が登壇。県政の諸課題について知事らと活発な議論を展開しました。

議決の状況

【知事提出議案】

◎予 算 議 案　≪可決２件≫　　◎条 例 議 案　≪可決６件≫
◎人 事 議 案　≪同意８件≫　　◎その他議案　≪可決・承認・継続審査８件≫

【請　　願】　≪不採択２件≫

【陳　　情】　≪研究留保１件、趣旨採択１件、不採択７件≫

表紙の写真

やきとりJAPAN フェスティバル in 倉吉

全国の焼き鳥の名店が集う日本最大級の焼き鳥イベント「やきとりJAPANフェスティバル」が、令和７年９月27日・28日の２日間にわたって開催されました。

焼き鳥店19店舗、地元店26店舗が参加し、来場者数は２日間で延べ９万人を超え、大盛況となりました。

★議員別の賛否の状況は、10、11ページでご覧いただけます。

代表質問

鳥取県議会自由民主党



鳥羽　喜一　議員
選挙区　倉吉市

参議院議員選挙を経て

問 石破総理の掲げてこられた地方創生の歩みが止まることを懸念している。今後、自民党と日本の政治の重要な転換点を迎える中で、国政の動向を知事はどのように考えられるか。

答 石破政権は内外の厳しい情勢の中で少数与党として、野党との人脈を活かして予算を成立していった。日本は自民党が長く一党で過半数を得る時代が続いたが、これは世界的には異常なこと。地方議会では既に行われているが、与党や野党という枠を超えて、国民のための政治、もう一皮むけた日本の民主主義に期待したい。

多文化共生社会の推進

問 世界で排外的な政治勢力が台頭する中、日本でも外国人受け入れを否定する政党が勢力を伸ばしたが、人手不足や経済活性化の観点から、国際的な人・モノ・カネの往来は不可欠であり、相互理解と信頼こそ平和と発展の基盤である。本県でも多文化共生を大切にしていく必要があると考える。

答 歴史的に国際協調と交流が各国の発展を支えてきた以上、この流れは止められない。今こそ、国と地方が多文化共生と国際協調の重要性を再確認し、幸せに暮らせる社会の在り方を根本から議論すべき。

最低賃金への対応

問 最低賃金の引上げは生活支援としては重要で、特に非正規や若年層、子育て世帯に歓迎される一方、地方の中小企業には価格転嫁が難しく経営への打撃が懸念される。雇用機会の減少や廃業リスクもあるため県として影響を丁寧に見極め、価格転嫁や生産性向上等の支援策を講じていくべきでは。

答 関係者と連携し適正な取引価格の確保などを通じて中小企業でも賃上げしやすい環境を整え、企業と労働者が協力して賃上げを進められるよう取り組みを強化する。

伝統工芸品の保存推進

問 伝統工芸や文化は地域固有の強みであり、日本・鳥取県が誇る資源として次世代へ継承すべきものである。県としてもその価値を発信し、後継者育成など技と心を未来へつなぐ支援を強化すべき。

答 近年、民芸をはじめとする工芸が再評価されている。県としても販路開拓を進めており、国内外に視野を広げる好機が万博を通じて生まれた。今後はさらに販路拡大を支援し、後押ししたい。

体育館のエアコン設置

問 東京都では学校体育館の空調整備がほぼ100%まで進む一方、地方では財政難から厳しい暑さの中で活動せざるを得ない状況がある。高校生議会でも議題に挙がったが、熱中症リスクや避難所機能の観点から、体育館へのエアコン設置を検討するべきでは。

答 （教育長）猛暑や避難所対策の観点から体育館への空調整備は必要であり、来年度当初予算に向け外部委託による整備計画を検討、再来年以降に県立高校でモデル的に導入を検討する。この動きを各市町村へ波及させ、安全を守る拠点整備を進めたい。

高校の魅力化

問 魅力ある学校づくりには教育委員会の支援だけでなく、学校長を中心とした主体的かつ中長期的な経営視点が必要である。公募制を導入し、任期の明確化や民間人材の登用による新たな学校経営など、先進的な取組の導入を検討すべきでは。

答 （教育長）学校長は経営者的な存在であり、中長期的視点は重要。現時点で公募制の導入は考えていないが、校長に必要な力の育成を重視し、民間の視点も取り入れ、リーダー人材の育成を進める。

「おひとりさま」問題

問 2065年には高齢者が人口の約4割、単身高齢者が5世帯に1世帯となる見通しで、特に身寄りのない未婚高齢者の増加が課題となる。住まいの確保や生活・医療支援などへの対応が急務であり、県として単身高齢者支援にどう取り組むのか。

答 官民連携のプラットフォームを活用し、県庁内の関係部局が連携しながら市町村も含めて検討する。

代表質問

鳥取県議会民主とっとり



尾崎 薫 議員
選挙区 鳥取市

多極化する世界と鳥取県

問 米国の弱体化、中露北朝鮮の連携やグローバルサウスの台頭など世界が多極化する中、日本海の玄関口である県はどう向き合うか。

答 平和国家を国是とする日本がどうするか戦略が必要。県は日中韓と信頼関係を醸成、人と人、地域と地域を結ぶ役割を展開する。

国連を鳥取へ！

問 財政難の国連が再編・コスト削減のため、一部アフリカ移転を検討している。ならば、災害も少なく自然に恵まれ、生活コストが安い鳥取に来てはと思う。鳥取のグローバル戦略としても、また、国連の持続可能性、平和、環境という理念にも合致する。

答 誘致より国連協調主義・平和実現に力を発揮する連帯が良い。

SNSと公正・公平な選挙

問 虚偽情報等SNSの選挙への影響は大。今後どうすべきか。また、若者から被選挙権年齢引き下げを求める声がある。所見を。

答 民主主義を守る上でSNS・インターネット時代の選挙はルール・土俵を決めて再構築すべき。被選挙権年齢は問い直されていい課題だ。

税制・雇用と女性の自立

問 「103万円の壁」など昭和型家族モデルが前提の税・社会保障制度が女性の経済的自立に影響している。ジェンダー平等・社会の活力の観点から現状をどう捉えるか。また、県出資法人の無期雇用非正規職員の処遇改善のため、事業報告に非正規職員の給与を含め透明化を図るべき。

答 「103万円、178万円」の年収の壁でなく、配偶者特別控除の様に収入増に応じ控除額も減る仕組みが良い。国は地方財政に影響を与えるべきでない。選挙に絡めず丁寧な議論を望む。事業報告透明化は検討する。

SNSと部落差別

問 悪質な差別的SNS拡散防止の仕組みづくりや差別を許さない強力な人権啓発が必要。

答 ネット問題は国も本腰を入れようとしている。県では実効性担保のため行政罰など人権尊重の社会づくり条例の改正を検討中。リテラシー向上にも力を入れる。

賃上げとその対策

問 最低賃金が1030円になったことは若い世代が希望をもてる。しかし、中小零細企業の負担軽減策はあるか。

答 効率化・環境整備の助成があり、利用してほしい。価格転嫁に向け業界団体と行動し、推進する。

南北線（※）について

問 南北線の建設が進むのは歓迎だが以前から出ている地元の懸念にも向き合って進めてほしい。

答 単に説明して説得するのではなく解決策があるか考えていく。

看護師へのハラスメント

問 看護師へのハラスメントが顕著で継続的支援が必要。高齢者・障がい者施設にも対象を広げてはどうか。

答 相談窓口・防犯カメラ等の補助は手応えあり。実績を見てやっていく。高齢者施設等にも広げる。

若者ニーズを反映した高校

問 越境授業、学校間連携をしてはどうか。約千人の中高生等にアンケートした。高校を選ぶ目的はまず進学、そして部活やイベント。学びたい学科では、投資経済、ダンス、ゲーム制作などが人気。学べる機会を創出しアピールをしてはどうか。また知事には、物心両面での支援を求める。

答 （教育長）他校とのオンライン授業、学校間連携もしているがアピール不足。生徒の目に留まるよう改革、高校づくりをする。

答 様々な声を入れた夢に叶う改革をすれば惜しみなく支援する。

女性警官登用と男性育休

問 鳥取県警の女性警察官の採用・管理職への登用の展望は。男性の育休取得日数を増やすべき。

答 （警察本部長）女性警官比率を令和12年度までに14％に上方修正し、能力・業績に基づき登用し、昇任意欲の向上を支援する。男性育休は2週間以上取得85％を目標とする。

（※）南北線…山陰近畿自動車道の鳥取～覚寺間の通称。

一般質問



会派正式名称

【自由民主党】鳥取県議会自由民主党
【民主とっとり】鳥取県議会民主とっとり
【公　明　党】公明党鳥取県議会議員団

答弁者説明

答弁者は、記載のないものは知事（各部局長の答弁も含む）。教育長、警察本部長は知事の部局ではないため、別に表記した。

9月定例会では、21人の議員が一般質問を行いました。
本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。
なお、議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。
※掲載に時間がかかる場合があります。

鳥取県議会　検索



島谷　龍司 議員

選挙区　鳥取市
会　派　自由民主党

「親亡き後」に向けて万博のレガシー活用を

問 入所施設の在り方は国が方針を示す課題だが、県も民間法人へ積極的に支援すべき。

答 改修、大規模な修繕などは国に増枠要求するが、県でも可能なことを検討したい。

問 万博のレガシーを引き継ぐうえでも、万博での知見や虫眼鏡デバイスなどの活用により鳥取の魅力発信拠点を関西に設けては。

答 今後の県内外のプロモーションに、万博のシステムを規模を縮小して引き継ぎ、アフター万博の観光誘客、物産振興のツールにしていきたい。



前住　孝行 議員

選挙区　八頭郡
会　派　無所属

①渇水対策②人権尊重社会づくり条例に罰則

問 ①水不足の影響のある地域の調査とその対応の情報提供をしては②人権尊重社会づくり条例をより実効性のあるよう罰則規定を設けては。

答 ①農閑期での地元の話し合いに、市町村や県の農業土木系の職員も加わり、シミュレーションをしてみたり、簡単にやれることも考えたりしていく②氏名公表、削除命令、場合によっては行政罰も含めた担保措置をつくるとか、実効性の向上が次にできることかなと思っている。年末に向けて誠実に議論をまとめてまいりたい。



銀杏　泰利 議員

選挙区　鳥取市
会　派　公明党

鳥取は鶏（とり）取県こどもの国に砂遊びを

問 ①やきとりＪＡＰＡＮフェス倉吉開催を受けて、グルメをうならせる食のイベントを実施し、食文化のレベルアップとＰＲに②蟹取県、星取県に対抗し鳥取県は鳥だ、とり・とりけんの漢字表記は③悪天候でも満足頂けるようこどもの国に砂像を。

答 ①市場性、フェス存続の可能性はあり、鳥にまつわる生産基盤、食文化を考えるよすがになる②日に限って「鶏」に書き換えてもいい③ヨルダンの砂等を活用し、思いっ切り砂遊びできる、サンドアート、ヨルダン砂絵など検討中。



川部　洋 議員

選挙区　倉吉市
会　派　自由民主党

再生可能エネルギーと持続可能な地域づくり

問 地域の電力を100％自給する自立分散型エネルギー社会を構築し、地域が主体となって再エネをつくり回す仕組みづくりを進めるべきではないか。その方法のひとつとして、農地を活用したソーラーシェアリング型農業を県農政の柱として位置づけてはどうか。

答 地域が納得できる環境を整えながら進めていく。ソーラーシェアリング型農業については、農業生産や収益への影響を見極めつつ進める必要があり、現場の実証を重ねて判断していく。



坂野経三郎 議員

選挙区　鳥取市
会　派　民主とっとり

老朽化した県有資産 人権尊重社会の実現

問 県が保有する老朽化した県有資産の今後の有効活用について所見を求める。

答 県有施設・資産有効活用戦略会議の中で未利用施設等を含めて、リトマス試験紙をかける作業をしっかり行う。

問 誹謗中傷・差別表現は絶対に許されず、行政罰を含む条例改正を検討するという知事の方針に全面的に賛同する。考え方について問う。

答 差別を受けたり誹謗中傷で苦しむという方々の生の声が反映される仕組みを通じて、今後、実効性の担保をともなう条例案の形成を行う。



語堂　正範 議員

選挙区　東伯郡
会　派　自由民主党

①ぼうさいこくたい ②中部ＨＳフォーラム

問 ①来年、鳥取県でぼうさいこくたい（※）が開催される。開催の都度、来場者・参加団体が増えている。本県の目標と広く県内・県庁内の体制づくりが必要では。

答 ①今年開催の新潟県を超えるよう頑張る。関係機関と力を合わせ全庁で取り組む。

問 ②中部ハイスクールフォーラムは高校の魅力発信の場となっている。県教育委員会も積極的に関与するべきでは。

答 ②（教育長）第１回大会から参加している。市町教育委員会の意見を踏まえながら話し合いを進めて行きたい。



東田　義博 議員

選挙区　鳥取市
会　派　自由民主党

民生委員・児童委員の待遇改善等について

問 ①民生委員・児童委員の現状と課題②組織の若返り③委員の在り方④実費の費用弁償⑤業務の負担軽減について。

答 ①成り手不足の解消、委員の高齢化対策、業務の整理、処遇改善等の課題がある②働く委員の企業応援制度や社会福祉士資格取得への反映については検討する③委員の最適な制度のあり方について国に求める④実費弁償費の見直しについて国への要請を考える⑤業務の簡素化・効率化を図れるＩＣＴやシステムの導入と財政措置について国に提言する。



玉木　裕一 議員

選挙区　鳥取市
会　派　無所属

多文化共生社会の実現に向けて

問 県内は人手不足。この広い世界の中で、生活コストの安い鳥取県で大胆な住宅補助政策を実施すれば、可処分所得・手取りが増える。おもてなしの心と他県に負けない住宅補助政策で選ばれる鳥取県に、と考えるが、知事の所見を問う。

答 外国人の育成就労制度も睨みながら関係者とよく協議し、Ｗｉ－Ｆｉやアメニティー系も含め柔軟な支援ができるよう横串で刺したような新しい住居支援の仕組みを新年度当初予算に向けて検討する。



山本　暁子 議員

選挙区　鳥取市
会　派　自由民主党

多様な食文化対応 学びの多様化学校設置

問 インバウンドに向けた多様な食のパラダイス鳥取県を。

答 しっかりやっていく。

問 学びの多様化学校設置の所見は。民間のノウハウを生かした設置も視野に助成を。

答 教育委員会に対し執行部もフォローする。民間については個別検討し、しっかりとフォローアップする（教育長）県内に数多く生まれ、市町村で設置されることが理想。もう一度話し合い、オンライン学習などの様々な仕掛けや学校の設置という大きな一歩を踏み出すことも含め、より注力して進めていく。

（※）ぼうさいこくたい…防災推進国民大会の通称。産学官民の関係者が日頃から行っている防災活動を発表し交流する日本最大級の防災イベント。



前田　伸一 議員

選挙区　鳥取市
会　派　公明党

日中交流、脱毛症支援 広域観光、農林業振興

問 ①日中の民間交流促進のため上海－米子便の復活を②がん以外の脱毛症患者（加齢性を除く）の社会参加のため、ウィッグ等の購入支援を③今後の広域観光にどう臨むのか④今後の皆伐再造林と農林業の省力化をどう推進するのか。

答 ①上海の航空会社を訪問し可能性を探りたい②どの程度まで支援できるのか検討したい③中国地方と関西の両方で観光交流の流れを引き込みたい④収益性等を踏まえたゾーニングによる施業を行う。自動草刈り機を前提とした林業や圃場整備を展開したい。



森　由美子 議員

選挙区　米子市
会　派　自由民主党

①防災力強化 ②地域づくり推進

問 ①地域防災力の向上とコミュニティの再生について②万博後を見据えた観光戦略とふるさと教育について。

答 ①地域主体の自律的な防災力強化を進めＩＣＴを活用して自治会運営を効率化し、若い世代の参加を促す。持続可能な運営とするために、支え合うコミュニティ防災を推進する②高付加価値・ハイエンド観光の誘致と体験型観光資源を活用する（教育長）ふるさとキャリア教育を通じて、子どもたちが、自身の言葉で発信できる次世代の観光人材育成の取組を促進する。



市谷　知子 議員

選挙区　鳥取市
会　派　無所属

旧荒金鉱山、障がい者 いじめ問題、賃金、コメ

問 ①岩美町旧荒金鉱山は、鳥取大震災で堰堤が決壊し日本の植民地支配で強制労働となった朝鮮人と家族が生き埋めに。供養塔の説明書きから強制連行の字が消されたがどう思うか。国に遺骨収集と祖国返還の働きかけを②障がい者就労支援事業所での障がい者同士のいじめ問題。相談窓口周知と職員研修を③賃上げ直接支援を④コメ所得補償。

答 ①守るべきものを守ることは重要。遺骨問題は粘り強く話す②引き続き行う③生産力上げることと思う④小規模農家支援を拡充。政府折衝も。



前原　茂 議員

選挙区　米子市
会　派　公明党

①リチウム電池処理 ②大規模風力発電

問 ①リチウムイオン電池等の住民への廃棄方法の周知と便利なステーション回収を進めるべきでは。

答 ①廃棄方法の周知について、わかりやすい工夫を検討。ステーション回収はひとつのやり方であり、新年度に向けて市町村と相談していく。

問 ②県西部の３町長の風力発電建設への反対表明について、知事の所見を伺う。

答 ②地元には不信感があると感じる。県として、国に地元の意見を聞かないといけない制度に改めるよう求めていく。



浜田　妙子 議員

選挙区　米子市
会　派　民主とっとり

温泉とレジオネラ菌 養護教諭管理職登用

問 ①淀江ゆめ温泉で数回レジオネラ症が発生。厳重な安全安心対策を②鳥取県は養護教諭の管理職ゼロ。登用すべき③鳥大生のメンタル相談年間約百名。卒業後の支援補償を。

答 ①体調を崩された方にお見舞い申し上げる。同じ事態が起きない様、厳密対応を考える。レジオネラ対策の専門家による研修会を考えている②（教育長）養護教諭の学校運営参画は意義があり進めたい③ゲートキーパー機能をしっかり果たし、社会に出ても相談窓口を提示し連携調整する。



安田　由毅 議員

選挙区　境港市
会　派　自由民主党

①選ばれる県庁へ②ＨＵＧを体験しての学び

問 人手不足が深刻化する中、県庁内の職場環境見直すべき。

答 職員の意見も聞き暑熱対策、トイレ環境、職務の効率化等の改善を強力に進める。

問 私自身のＨＵＧ（※）体験を通じ、平時の今だからこそ県民の命と生活を守るため準備しておけることがあるのではないか。また教職員にも避難所運営側に立った考え方を学ぶ機会が必要ではないか。

答 ＨＵＧも活用し防災体制、避難所開設の円滑化を推進する（教育長）ＨＵＧ体験を通じて教職員の避難所運営の基本的理解を進める。

（※）HUG…避難所運営ゲームの略。避難者の特性や事情が書かれたカード等を使い、避難所運営の模擬体験をするゲーム。静岡県が開発したものを鳥取県版に改編して作成した。



興治　英夫 議員

選挙区　倉吉市
会　派　民主とっとり

①コメ政策②学校での性暴力被害の対応支援

問 ①稲作農家の減少対策として、直播栽培の普及と種子コーティング工場の県内設置、親元就農支援の充実を②学校が対応に苦慮している児童生徒間の性暴力対応支援マニュアルの作成が必要。

答 ①直播栽培は省力化の重要な手段で、技術研修をする全農とっとりの考える種子工場への支援を検討する。親元就農支援の弾力化について点検し、新年度に向け拡充する②（教育長）ぜひ作るべき。被害生徒を守り、加害生徒への対応と指導、周囲の者への支援を入れたものを作成する。



入江　誠 議員

選挙区　東伯郡
会　派　自由民主党

①町内会維持対策②交通安全施設対策

問 ①戦時体制下、町内会は国家体制に組み込まれていた。体制下といった地域社会の歴史を反省し、自主的に活動するボトムアップ型の住民自治組織である意義を共有すべきだと考えるが、認識を伺う②全国の信号機の約24%が更新基準の19年を超えて老朽化しているが、整備の考えは。

答 ①今に適合したような在り方やもう一度まとまり直すことが、多分ひとつの鍵になる②（警察本部長）令和17年度末までに、19年を超える信号機がゼロになるよう、計画的に更新する。



山川　智帆 議員

選挙区　米子市
会　派　無所属

米子駅前４車線を３車線化する計画について

問 米子駅前３車線化の計画について、法令上の設計基準交通量を満たすことができるのか疑問。同道路は医大へのアクセス道路で、渋滞が発生すれば救急車両の遅れが生じ、生命に影響する恐れがある。県道の管理者として３車線化の交通シミュレーションなどを実施し、整備を検討している米子市に適切な助言・指導をして頂きたい。

答 元々は商工会議所青年部の要請。交通シミュレーションはいずれ必要で、道路管理者の立場として指標を満たせるかどうか意見を申したい。



野坂　道明 議員

選挙区　米子市
会　派　自由民主党

ネイチャーポジティブ経済移行戦略について

問 この戦略は、環境省、農水省、経産省、国交省の４省連名で昨年策定され、自然環境と経済活動の両立を目指すもので、それらを包含するプラネタリーヘルス（※3）の概念は江府町でも社会実装が取り組まれており、本県でもカウンターパートを定め向き合うべき。また、包括連携協定を結ぶ企業やその他の取り組む企業等とも連携すべき。

答 実践活動をする上で組織的な対応を強化する必要がある。先ずは、鳥取県庁としてネイチャーポジティブ宣言から始めてはどうかと考える。



福浜　隆宏 議員

選挙区　鳥取市
会　派　無所属

①鳥取地区の工業用水②公共施設利用に学割

問 ①鳥取工業用水から海水が原因と見られる塩化物イオンが検出され、メッキメーカー２社で被害が生じた。企業への連絡が不十分だった県企業局の姿勢を問う②市町村所有のスポーツ施設の利用料に学割をと、大学生からメールを頂いた。文化施設も含め市町村と情報共有し検討を。

答 ①お詫び申し上げる。一定基準内の水を供給する責務を負っており、品質保証できるよう緊急連絡や測定など体制を改める②移住や観光交流合宿誘致にも広がる話で、市町村との会議の中で共有する。



西村　弥子 議員

選挙区　米子市
会　派　無所属

①働きやすさ日本一②印鳥交流・カレー王国

問 ①若者就職・帰郷促進へＰＳＧｓ(※１)取組企業と連携し働きやすさ日本一に前進を。主体性を育て部活動・地域移行にも活かすため、心理的安全性(※２)が学校に必要では②訪印の時期や交流先等展望を伺う。交流を記念しスパイスカレー王国を掲げては。

答 ①県西部から始め、Ｚ世代へ響くよう庁内で検討する（教育長）生徒･教員にも必要。「失敗恐れず挑戦」奨励する②オリッサ州等、色々な地域と交流の土台作りをする。時期は検討。新年度に向けカレーで町おこしテコ入れを図る。

（※1）PSGｓ…心理的安全目標の略。心理的に安全な職場づくりと、それを通じた暮らしやすい地域社会を目指す。
（※2）心理的安全性…組織の中で誰もが安心して発言や行動ができる環境。
（※3）プラネタリーヘルス…地球環境と人々の健康が相互に深く関係しているという考えのもと、両者の健康を守ることを目指す概念。

鳥取県議会には４つの常任委員会があり、定例会中の付託案件の審議に加え、
閉会中も継続調査や県内外調査、勉強会などの活動を行っています。

農林水産商工常任委員会



◎９月定例会審査結果（議案）

日米関税対策や、コメの生産力増強に対する支援事業等を盛り込んだ一般会計補正予算など２議案について慎重に審議を行い、いずれも妥当なものと認め、原案のとおり可決すべきものと決定した。

◎出前県議会・県内調査（８/８：日南町）

出前県議会では「中山間地域における農業振興の現状と課題について」をテーマに、日南トマトの生産やオーガニックビレッジ宣言に係る取組等に関して、生産者、関係団体と意見交換を行った後、日南トマト選果場、トマトハウス団地及び有機野菜栽培ほ場を視察した。

◎県外調査活動

（８/25～27：千葉県、東京都、岩手県）

千葉県での①有機農産物の生産・販路拡大への取組、東京都での②ベンチャー企業の農水産品の産直アプリ等を通じた消費者と生産者の関係創出、岩手県での③事業承継支援等の取組、④建設業から大規模稲作経営への参入、⑤地熱活用型の循環型施設園芸、⑥ウニの再生養殖の取組等の調査を行った。



大型農業用機械の視察（岩手県）

地域県土警察常任委員会



◎９月定例会審査結果（議案、陳情）

来年度の本県での「ぼうさいこくたい」開催に向けた債務負担を含む一般会計補正予算など８議案について慎重に審査し、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定した。また、新たに提出された陳情１件を不採択、継続審査中の陳情１件を研究留保とすべきものと決定した。

◎県外調査活動（８/25～27：北海道）

①スポーツツーリズム、②サイクルツーリズムの取組、③小樽港湾の活性化による観光・インバウンド振興策、④文化財の保全・活用策、⑤警察官の教育訓練や災害時の警察の対応などについて調査を行った。

◎出前県議会・県内調査（９/５）

「若者・女性にも選ばれる、働きやすく暮らしやすい地域づくり」をテーマに出前県議会を実施し、みんなで話彩やチーム、とっとり若者活躍局と意見交換を行った。また、県立美術館で開館後の状況、倉吉観光ＭＩＣＥ協会で美術館を含む周遊観光、映画「遥かな町へ」に係る取組について調査を行った。



出前県議会での意見交換の様子

常任委員会活動

総務教育常任委員会



◎９月定例会審査結果（議案、陳情）

物価高騰に伴う県立特別支援学校給食費等の支援、地元自治体と連携した鳥取中央育英高校の寮整備、県民の情報リテラシーを高めるための全国フォーラム開催費等に係る一般会計補正予算及び県内産業振興に資する事業に充てる法人県民税法人税割の超過課税特例期間を延長する鳥取県税条例の一部改正等３議案について慎重に審査を行い、原案のとおり可決又は承認すべきものと決定した。また、陳情１件を趣旨採択、請願１件と陳情３件を不採択と決定した。

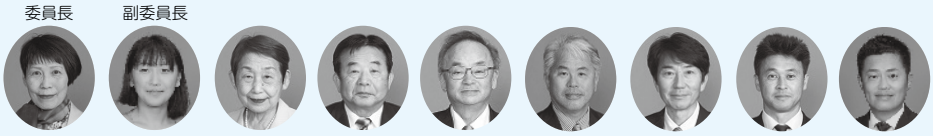
◎県外調査活動（８/25 ～ 27：北海道）

①プロ野球球団の本拠地を中心とした複合施設を核とした官民連携の取組、②ニセコ高校における高校魅力化及び寮整備の取組、③北海道庁における関係人口創出、移住定住促進及び若者の地元定着に係る取組、④とうべつ学園における小中一体型義務教育学校の取組、⑤北海道札幌国際情報高等学校における学科集合型の先進的・特色ある教育活動の取組について調査を行った。



ニセコ高校の視察（北海道）

福祉生活病院常任委員会



◎９月定例会審査結果（議案、請願・陳情）

県有施設や県管理道路の点字ブロックの不具合の改修や県民の視覚障がい、点字ブロックに対する意識啓発を行う事業のほか、保育サービスの多様化を支援する事業などを含む一般会計補正予算など、３議案について慎重に審議を行い、いずれの議案も原案のとおり可決すべきものと決定した。また、請願１件、陳情３件を審査し、いずれも不採択と決定した。

◎県外調査（８/25 ～ 27：奈良県）

①障がいのある人や家族へ生涯にわたる切れ目のない支援を行うための条例制定、②年間千人超の県民が見学に訪れる県営福祉パーク、③過疎化が進行する中山間地域で多様な世代・世帯が孤立せず助け合う公営住宅（高森のいえ）、④毎日の食事支援や学習支援を行う熱意ある子ども食堂など、多様な取組の調査を行い、得られた成果を県政に生かすこととしている。



「高森のいえ」を視察（奈良県）

自由民主党												民主とっとり						公明党			無所属							賛成者数	反対者数	表決者数	議決結果
浜崎 晋一	斉木 正一	野坂 道明	内田 博長	川部 洋	広谷 直樹	中島 規夫	安田 由毅	語堂 正範	東田 義博	浜田 一哉	福田 俊史	村上泰二朗	坂野経三郎	浜田 妙子	尾崎 薫	興治 英夫	伊藤 保	前田 伸一	前原 茂	銀杏 泰利	玉木 裕一	前住 孝行	西村 弥子	山川 智帆	松田 正	福浜 隆宏	市谷 知子				
議案に対する賛否																														
○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	32	1	33	可決
○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	32	1	33	可決
○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	32	1	33	承認
委員長報告（左記）に対する賛否　※請願・陳情への賛否ではありません																														
○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	○	×	22	11	33	研究留保
○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	○	×	22	11	33	不採択
○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	26	7	33	不採択
○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×	22	11	33	不採択
○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	19	14	33	不採択
○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×	22	11	33	不採択
○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	19	14	33	不採択
○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×	22	11	33	不採択
○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	31	2	33	趣旨採択
○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	25	8	33	不採択
○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	×	21	12	33	不採択

議決結果…議案は「可決」「否決」「同意」「承認」「認定」等の区分による。
　　…請願・陳情は「採択」「趣旨採択」「研究留保」「不採択」の区分による。
※（措置済）と記載があるものは、国又は執行部等において措置済みのため願意が概ね実現されており、議会として重ねて措置を講じる必要がないことを理由とするもの。

令和７年９月定例会付議案等議決結果

賛否が分かれた議案及び否決された議案

請願・陳情の詳しい結果はこちらからご覧いただけます ⇒

議案等番号	件名	委員長報告	自由民主党						
			入江誠	河上定弘	鳥羽喜一	森由美子	山本暁子	島谷龍司	鹿島功
①	令和７年度鳥取県一般会計補正予算（第５号）		○	○	○	○	○	○	○
⑫	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立東郷湖羽合臨海公園（はわい長瀬地区及び宇野地区））について		○	○	○	○	○	○	○
⑯	専決処分の承認について（１）損害賠償請求事件に係る訴えの提起について（令和７年８月１日専決）		○	○	○	○	○	○	○
陳情７年-11	旧姓の通称使用の法制化を求める陳情	研究留保	○	○	○	○	○	○	○
陳情７年-12	鳥取西部風力発電事業に関する陳情	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情７年-13	鳥取県の選挙公営制度利用状況の情報公開等について	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情７年-14	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2026年度政府予算に係る意見書採択について	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情７年-15	保育士配置基準の引上げの早期完全実施とさらなる改善を求める意見書提出を求める陳情	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情７年-16	保育所等に対する社会福祉施設職員等退職手当共済制度の公費助成の継続を求める意見書の提出を求める陳情	不採択	○	○	○	○	○	○	○
請願７年-17	国による小学校給食無償化実施に当たり、対象を中学校まで広げるよう求める意見書の提出を求める請願	不採択	○	○	○	○	○	○	○
請願７年-18	国に対し、訪問介護基本報酬引下げ撤回と基盤充実の意見書提出を求めることについて	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情７年-19	私学助成に関する意見書の提出について	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情７年-20	消費税減税を求める陳情	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情７年-21	物価高対策の速やかな実施について	不採択	○	○	○	○	○	○	○

【凡例】 議案等番号…○数字は知事提出議案、●数字は議員提出議案
賛否欄…「○」賛成、「×」反対、「議」議長、「欠」欠席。
※請願・陳情は、委員長報告に対して、賛成であれば「○」、反対であれば「×」と記載した。

令和７年度 高校生議会



鳥取県の未来を担う県内高校生が、知事や教育長などに質問する高校生議会が８月１日(金)に開催されました。この取組は、開かれた議会を目指す議会改革の一環で、模擬議会による議論や探究、学びの場を提供することで、若者に県政・県議会への関心を高めてもらうことを目的に実施しており、今年で15回目の開催となります。

本年度は、公立・私立の７校から14名の高校生が参加し、指導役の県議会議員とともに質問を練り上げ、質問戦に臨みました。

本番では、鳥取県の過疎化対策や高校生の選挙参画など県が抱える喫緊の課題や、近年の異常気象を考慮した学校施設環境の改善など、自らの体験を交えた質問・提言が行われました。

参加した高校生からは、「県政に触れる良い機会であった」「自分の視野が広がったと感じた」「他校の生徒の考えが聞けて面白かった」などの感想があり、県政や議会への関心や理解を深めていただく機会となりました。

(質問順)

高等学校名	生徒氏名	質問項目
鳥取西	唐　黎珂 谷本　佳穂	鳥取の過疎化を止めるためにできることについて
八頭	田中　幹浩	これからの鳥取の第二次産業について
鳥取東	谷口　貴紀 見生美優羽 杉本　僚哉	高校生を対象にした選挙参画の意欲向上について
米子松蔭	圓山世津子	高校生・大学生に向けた企業との繋がりをつくるアプリケーション開発について
倉吉北	上所　志築	学校体育館の空調設備について
日野	佐々木空大 鈴木重唯介 岡本　匠生	「食パラダイス鳥取県」における県立高等学校での学校給食の実施について
倉吉東	石賀　葵 菊留　真咲 山本　光	教育現場の改善に向けた提案

information

県議会からのお知らせ

12月定例会の日程案

期　日	日　程
12月１日(月)	本　会　議(開会・提案理由説明)
２日(火)	常任委員会
３日(水)	本　会　議(代表質問)
５日(金)	本　会　議(一般質問・質疑)
８日(月)	
10日(水)	
11日(木)	
15日(月)	
16日(火)	
18日(木)	常任委員会
19日(金)	特別委員会
22日(月)	本　会　議(採決・閉会)

※ 日程は変更の可能性があります。
※ 午前10時開始の予定です。

『とっとり県議会だより』について
ご意見をお聞かせください。
紙面づくりの参考にいたします。

パソコン・スマートフォンでご覧いただけます

本会議、常任委員会、特別委員会などの生中継と録画中継のインターネット放送は、パソコン・スマートフォンからもご覧いただけます。

また、本会議はケーブルテレビでもご覧いただけます。

鳥取県議会ホームページは
こちらから→

あ と が き

当紙面の編集は県議５名と事務局２名で構成する広報委員会が担当。内容チェックはもちろん表紙決めも重要で、適時性・印象度等を軸に複数候補からテーマと写真を厳選。今号も目に留まる“顔”になっていれば幸いです。　(広報委員F)

発行日／令和７(2025)年12月１日
編集・発行／鳥取県議会　〒680-8570 鳥取市東町1丁目220
☎0857-26-7460　FAX0857-26-7461　e-mail : gikaisoumu@pref.tottori.lg.jp